

2026年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社ROXX
代表者名 代表取締役社長 中嶋 汰朗
(コード:241A、グロース市場)
問合せ先 執行役員 CAO 高瀬 年樹
(TEL. 03-6777-7070)

2026年9月期第2四半期 決算説明会 Q&Aの公開に関するお知らせ

当社は、2026年5月14日付で、以下のとおり、2026年9月期第2四半期決算説明会を実施いたしましたのでお知らせいたします。

詳細につきましては、別紙をご参照ください。

2026年9月期第2四半期 決算説明会 Q&A

Q1:

転職を希望する求職者の獲得競争は激化している中で、求職者の獲得コストは高騰し、採用市場が大きく変化していると認識しています。その中で、Zキャリアはどのような取り組みを実施しているのかを教えてください。

A1:

Zキャリアにおいては、流入からの内定獲得率の上昇が示す通り、採用意欲の高い求人企業様が引き続き多い環境にあります。一方で、ご指摘の通り、求職者様の獲得コストは年々高まっており、従来の手法の有効性が低下してきているため、前年度から集客構造の改善に着手してまいりました。

具体的には、集客全体に占めるSNS経由の比率を高める取り組みを実施しており、前四半期においても追加の新規検証を行いました。その結果、本四半期ではSNS経由の比率が約80%となり、費用対効果の面でも改善が確認されています。

SNS経由の集客は、入口の登録単価そのものは高くなる傾向にありますが、動画等のリッチコンテンツを通じて事前にサービス内容を深く理解した上で流入いただける求職者様が増加しており、流入から面談につながる面談実施率が旧来の集客手法を上回っています。面談につながる集客単価として見ると、逆に低くなるという傾向が確認されました。また、検索連動型広告のように競合他社の入札状況によって獲得単価や応募獲得率が大きく変動するリスクがSNSの場合は少なく、集客力の安定化とコストコントロールの最適化にも寄与しています。

Q2:

キャリアアドバイザーの新規採用を強化する中で、新人キャリアアドバイザーの育成状況を教えてください。特に、生産性を低下させないために取り組んでいることがあれば教えてください。

A2:

戦力化キャリアアドバイザーの人数は、ほぼ想定通りに推移しております。一定の新陳代謝を図りながらも、戦力化メンバーの離職はほぼなく、この人数に対して売上は極めて連動していく形となっております。なお、上期に採用した方が戦力化を経て入社するまでのリードタイムが半年近くかかる構造上、売上への貢献は特に下期に寄っていくことを見込んでおります。

一部、入社後に戦力化が難しいケースや早期離脱のケースも生じておりますが、第3四半期での補填も進めながら、全体数を計画に合わせるよう調整しております。

生産性につきましては、新人増加に伴いマネジメント人員の確保が必要となる点が一定程度影響を与えております。しかしながら、独自に開発したAI関連ツールの成果が見えはじめ、第2四半期時点での一部試験導入を経て、現在は本格導入を進めております。

「AIロープレ」につきましては、4月より全面適用を開始しております。従来は広告宣伝費の一部をキャリアアドバイザーの育成コストとして充てる構造がありましたが、AIロープレの導入によりその構造を見直すことができました。入社間もない新卒でも毎日ロープレで一定の基準点を目指す中で経験値を早期に積むことができ、かつ集客費用が不要となった点は大きな前進です。広告宣伝費をより効果的な用途、すなわち戦力化済みメンバーを通じた売上転換に集中させることが可能となり、マネジメントの時間もより戦略的な業務に振り向けることができ始めております。

加えて、直近発表しました「AIフィードバックシステム」も本格運用を開始しております。一件一件の面談に対してフィードバックを行うことで、従来のマネージャーごとのフィードバック能力の差分を解消し、属人的な管理からデータとAIに基づいた成長サイクルが回る組織への転換が進みつつあります。

下期の投資回収フェーズおよび通期黒字化に向けて、人員拡大とマネジメント体制の強化を両輪で実施しながら、人員増に伴う一時的な生産性低下のリスクを適切に抑制しつつ、高い水準を目指せる土台が着実に構築されていると認識しております。

Q3:

パフォーマンス収入(社外経由)とリカーリング収入について、足元の状況を教えてください。

A3:

社外経由のパフォーマンス収入については、前四半期では減少したものの、前年同期比では上昇しており、体制としても回復トレンドを掴みはじめたと捉えております。リカーリング収入につきましても、一定の回復トレンドに入っています。

回復の最大の要因は、新人育成プログラムや既存社員向けのマネジメント・教育コンテンツを、パートナー紹介会社様向けに提供する研修プログラム「BootCamp」の成果が売上高への寄与として現れ始めたことにあります。KPIマネジメントの手法や面談の仕方など、当社で実際に成果を上げてきたノウハウをパートナー紹介会社様に提供することで、その成果が結果として表れています。引き続き社内でのオペレーションを強化し、精度をさらに高めてまいります。

加えて、当社で活用し実際の成果が確認されているAIツールを「AIアシスタント by zcareer platform」として提供・導入促進を進めることで、回復トレンドの維持・拡大を目指してまいります。同じ人材紹介であっても売上が創出できるかどうかの差分は各社ごとに課題が異なりますので、当社の取り組みを外部に提供することで、プラットフォーム全体としての成果向上を目指しております。

Q4:

生成AIが急速に普及する中でノンデスクの人材紹介領域がどのように変化すると考えているのかを教えてください。

A4:

当社でも実際にさまざまなAIツールを開発・活用しており、その進化のスピードとレベルは著しく、業界構造に変化をもたらす可能性があるかと認識しております。

ノンデスクの人材紹介領域における支援の本質は、給与や勤務地といった条件の合致だけではありません。求職者様が言葉にできない不安を汲み取り、背中を押したり相談に乗るといふ、接客としての価値が非常に大きいと考えております。条件が明確でやりたいことが決まっているのであれば、検索サイトでも十分に事足りるはずですが、しかし現実にはそうではありません。

当社がサービスを提供している求職者の多くは、これから正社員を目指す方や平均年収270万円程度の方々です。自分が何をすればよいか分からない、相談内容が言語化できないといった状況にある方が多く、学歴・職歴不問の求人が豊富にある一方で、どれを選べばよいか分からないというケースが実態として多数存在します。キャリアアドバイザーが介在することで、新たな選択肢の提示、正社員になるメリットの説明、この職に就くことで5年後・10年後どのようなキャリアが築けるかといった提案を、寄り添いながら行っております。

特に現場で活躍するノンデスクワーカーの方々にとって、何よりの支えとなるのは信頼関係です。この人が言ってくれるならという要素は、AIが普及する文脈においてむしろその価値が強くなるものと考えております。

また、ホワイトカラーからブルーカラーへという流れもこの一年で顕在化してきており、ブルーカラー領域の収入水準の向上や希少性の高まりはまだ始まったばかりです。Zキャリアが目指している領域におけるシェアと当社のポジショニングの確立に引き続き注力することで、将来的な大きな成長を実現できると考えております。

もちろん、転職支援そのものが将来的にAI化される可能性を排除することはできません。現時点では人を増やすという意味決定をしておりますが、自身もユーザーとしてAIを積極的に活用しながら、しっかりと領域を見極めて今後の戦略に反映してまいります。

【免責事項】

- 本資料は、株式会社ROXX(以下「当社」といいます)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料には、当社の計画や戦略、業績の見通し等、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、別段の記載がない限り本資料の発表日現在における当社が入手可能な情報並びに当社の計画及び見込みに基づいた当社の想定、将来の見通し及び推測が含まれますが、これらが達成される保証はありません。経済状況の変化、当社サービスのユーザー様の嗜好及びニーズの変化、他社との競合、法規制の変化環境、その他の様々な要因により、将来の予測・見通しに関する記述は実際の業績と大幅に異なる場合があります。したがって、これらの将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。また、独立した公認会計士または監査法人による監査またはレビューを受けていない、過去の財務諸表または計算書類に基づく財務情報及び財務諸表または計算書類に基づかない管理数値が含まれていることをご了承ください。当社は、適用ある法令又は証券取引所の規則により要求される場合を除き、本資料に含まれるいかなる情報についても、今後生じる事象に基づき更新又は改訂する義務を負うものではありません。
- 本資料には、当社が事業を行っている市場に関する情報を含む、外部の情報源に由来し又はそれに基づく情報が記述されています。これらの記述は、本資料に引用されている外部の情報源から得られた統計その他の情報に基づいており、それらの情報については当社は独自に検証を行っておらず、その正確性又は完全性を保証することはできません。